

【いしかわっ子の活躍】

*「投げコマ長回しチャンピオン大会」**決勝進出者**（年明けに、1～9位決定戦を行います）

1年：1人 3年：1人 4年：4人 5年：2人 6年：1人

*「新潟教育アート展」

【奨励賞】2年：1人

【優秀賞】6年：1人

*「中越教育美術展」

【研究会賞】（特別賞）6年：1人

【特選】1年：1人

【金賞】2年：2人 3年：2人 6年：1人

【銀賞】1年：1人 2年：1人 3年：2人 4年：1人

6年：3人

*銅賞15名 *佳作26名



【年末年始の行事 あれこれ】



年末年始の行事等について、皆さんはどんなことを知っていますか。いくつか紹介します（以下は、ある一部の情報からとっています。ご了解ください）。

*「**大晦日**」晦日とは毎月の最後の日のこと。だから11月30日も晦日。1年の最後の12月31日に、「大」をつけて「大晦日」と言います。ある調査では、日本人の6割くらいは大晦日に蕎麦を食べるという情報も。皆さんのご家庭ではいかがですか。蕎麦を食べるようになった説にはいくつかあるようです。

① 蕎麦は細くて長いので、細くても長く健康に暮らせるという考えからきた説。

② 昔、金箔をつくる職人さんが、飛び散った金箔を集めるのに蕎麦団子を使ったことから、蕎麦はお金を集める縁起物とされた説。



*「**除夜の鐘**」仏教では、人間には108の煩惱（主として人の心を迷わせたりくよくよさせたりする元になるもの）があるとされています。大晦日に鐘を108つ鳴らして一つ一つ取り払います。鳴らし方には決まりがあり、108回目、つまり最後の1回だけは、真夜中の新年に変わってから鳴らすとのこと。可能であれば、今年最後の鐘の音や、新年最初の鐘の音を聞いてみてください。



*「**正月**」正月には作物をたくさん実らせてくれたり、みんなの健康を守る神様がやってきたりすると考えました。正月はそういったことを鏡餅や松飾りでお迎えしてみんなでお祝いするという伝統的な風習です。昔はもう一つのお祝いの意味がありました。それは、元日は国民全体が一斉に一歳年を取る日だったということ。昔は「数え年」といって、生まれた瞬間に一歳、そして元日になると誕生日に関係なく、みんな一斉に年を一つ取ったのです（例えば、12月31日に生まれた子は、その12月31日に一歳となり、そして次の日の1月1日には二歳になっていました）。



年末年始の過ごし方は、それぞれの家族によって違います。ただ、こういった年末年始の行事にはその一つ一つに意味があることを知って、大事なことは次の世代にも伝えていきたいものです。そう言えば、おせち料理の食材にも、いろいろな意味が込められていますよね。黒豆とかレンコンとか…。

【連絡1】 *学校に職員が不在の期間の緊急連絡先（教育委員会）は、先日メールでお伝えしたとおりです。それ以外期間の緊急連絡先は「佐藤教頭」まで連絡くださいますようお願いいたします。緊急な場合とは、新型コロナウイルスに関することや命に関わる重大な事案（事件・事故・不審者等）を指します。連絡方法については、メールと石川小HPでお伝えします。

【連絡2】 *数年前まで、体育館で「新春書き初め大会」を実施していましたが、子どもたちの体調管理（インフルエンザ等を流行させない）の観点から、今年も体育館では実施せず、教室などで行うことにします。なお、例年どおり、子どもの書き初め作品は展示します。詳細は追って連絡いたします。

【連絡3】 *冬季間、自転車は乗れなくなります（足でキックして走るローラーブレードなどは、一年中公道では乗れません）。ご家族も乗らないようにお願いします。冬、除雪された山にのぼらないこと、雪玉を車や人や家などにぶつけないことも指導願います。

【連絡4】 *車での送迎については登下校時（朝・帰りの時刻）、五十嵐小児科さん側からの進入は控えてください。雪が積もった場合は、体育館前駐車場入り口を過ぎた路上で子どもを降ろし（入り口手前や入り口付近はスクールバスが通るので危険です）、すぐに右折して（五十嵐小児科さんまで向かわず）通り抜けてください（イメージとしては一方通行で）。車を運転するご家族の皆さんにもお伝えください。